




# 44. 沖縄県

<b>対象地域</b>	沖縄県那覇市首里 首里杜地区			
<b>申請主体</b>	沖縄県			
<b>計画名</b>	首里杜地区を中心とした暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり			
<b>観光客データ</b>		平成31年	令和5年	令和6年
	入込観光客数(千人)	2,803	350	997
	- 国内	1,765	331	919
	- 訪日外国人旅行者	1,038	19	78
<b>地域の特徴・観光資源等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>首里城公園(首里城・園比屋武御嶽石門・守礼門等)</li> <li>金城町 石畳道</li> <li>中城御殿跡</li> <li>首里染織館suikara</li> </ul>			
<b>協議体制</b>	<b>協議の場</b>			
	<b>首里杜まちづくり推進協議会</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営主体：沖縄県・那覇市・首里杜地区まちづくり団体連絡協議会</li> </ul>			
	<b>参加者</b>			
	<b>沖縄県</b>	<b>那覇市</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>土木建築部 (首里城復興課、都市公園課、道路街路課)</li> <li>文化観光スポーツ部 (観光振興課)</li> <li>企画部(交通政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市みらい部 (都市計画課、道路建設課、道路管理課)</li> <li>経済観光部(観光課)</li> </ul>			
<b>内閣府沖縄総合事務局</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>開発建設部 (首里城復元整備推進室)</li> <li>運輸部 (沖縄総合観光施策推進室 ※観光庁出先機関)</li> </ul>				
<b>住民関係者</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>首里杜地区まちづくり団体連絡協議会 (古都首里のまちづくり期成会、首里振興会、NPO法人首里まちづくり研究会、首里三ヶ城南校区まちづくり協議会、城西小学校区まちづくり協議会、御茶屋御殿復元期成会)</li> </ul>				
<b>事業者・学術機関</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄美ら島財団</li> <li>沖縄観光コンベンションビューロー</li> <li>S C S K 株式会社</li> <li>琉球大学</li> </ul>				

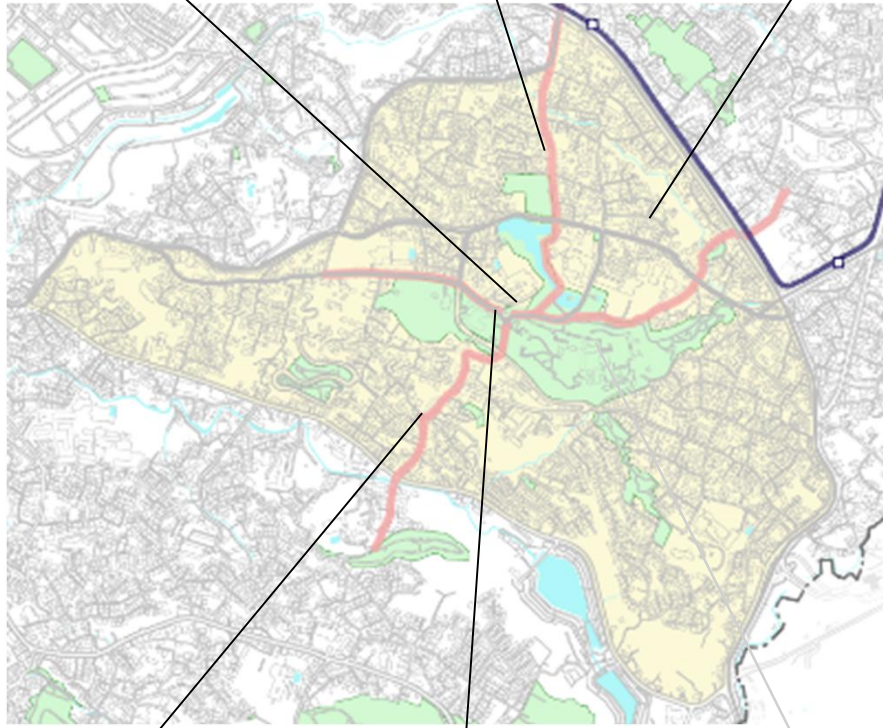
## エリアマップ








園比屋武御嶽石門

中城御殿跡

首里染織館suikara  
引用元：首里染織館  
Suikara<https://suikara.ryukyu/>



金城町の石畳

守礼門

首里城正殿

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 首里城公園への来訪者の集中	<ul style="list-style-type: none"> <li>首里城公園周辺にも特徴的な観光資源は多く存在している一方で、観光客の旅行行程や自動車での来訪が多い等の理由によって首里城公園に観光客が集中している。</li> <li>令和6年度近距離モビリティ実証実験で、周遊型観光への行動変容について実証実験を行った際にも周遊ルートの充実などソフト面での課題も顕在化した。</li> </ul>	住民・地域事業者
2. 首里城公園周辺道路の渋滞	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度の正殿復元時には、多くの来園者により、首里城公園周辺でのレンタカー等の小型車による渋滞が想定される。</li> <li>首里城公園は小学校に近接していることもあり、交通渋滞により通勤や学校の送迎などの点で地域住民の日常生活に影響が出ており、危険性が高まっているとの声があがっている。</li> <li>緊急車両の通行を妨げる等の危険な状況が発生している。</li> </ul>	住民・観光客
3. 施設の混雑	<ul style="list-style-type: none"> <li>首里城公園施設は、修学旅行を始めとした大勢の観光客が訪れるが、一部施設に集中して混雑が発生し、快適に観光ができないなどの不安の声があがっている。</li> <li>防災の観点で、混雑要因による避難誘導が滞ることで、群衆事故が発生する恐れがある</li> <li>観光客のツアー行程や快適な観光にも影響が発生している。</li> </ul>	観光客

### 1 首里城公園への来訪者の集中



首里杜地区の観光資源はたくさんあるが、周遊が十分にできていない

右上：中城御殿跡、右下：龍潭  
左上：玉陵、左下：首里染織館suikara

### 2 首里城公園周辺道路の渋滞



一般車が、周辺駐車場入庫待ちをしている様子

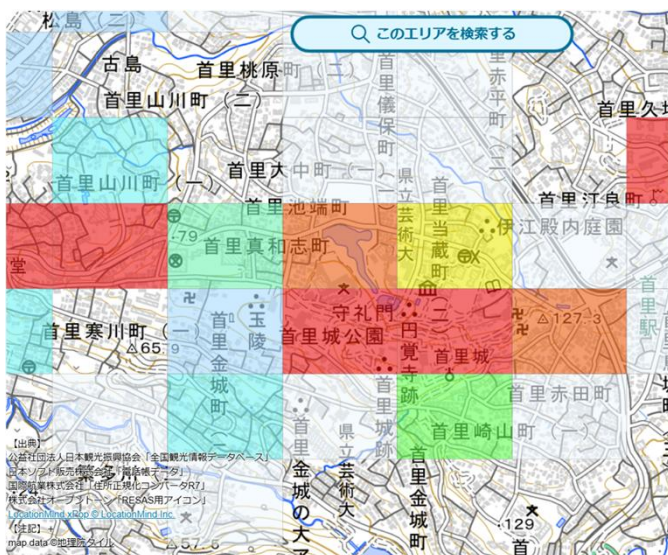
### 3 施設の混雑



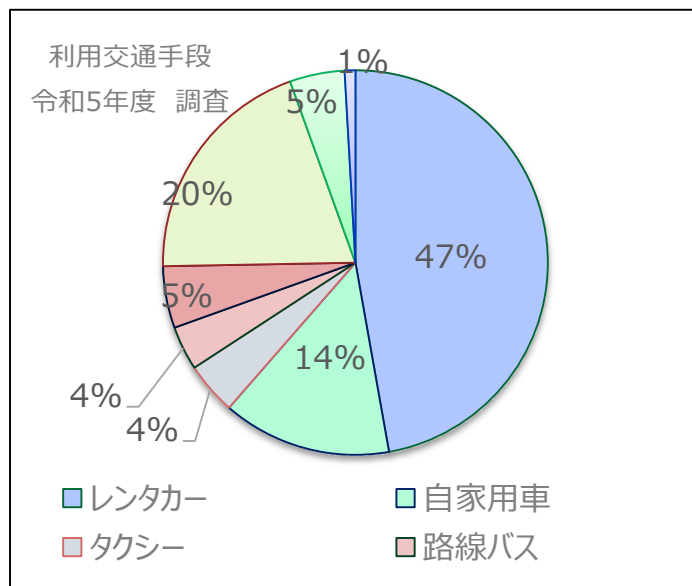
復元されたばかりの首里城の一般公開、初日にどっと5万人が駆けつけた＝1992年11月3日  
平成復元時の一般公開の様子

## 主な背景・要因

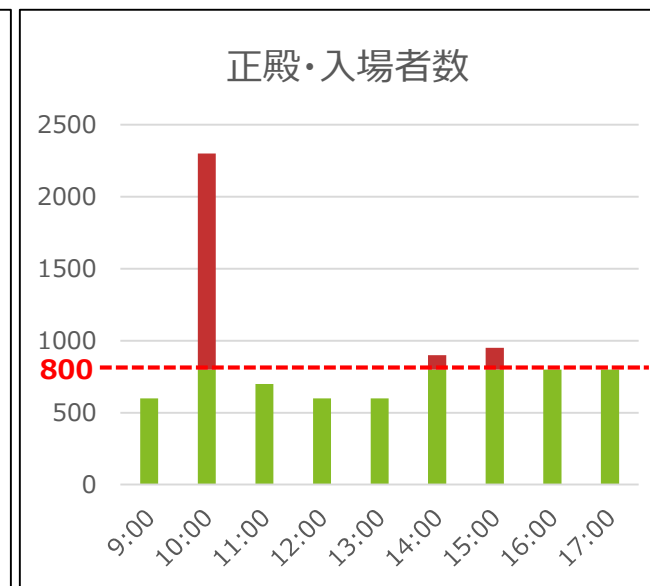
- 観光スポットの磨き上げ及び認知の不足**
  - 首里杜地区の観光資源について認知されていない。
  - 首里城公園への来訪手段・移動手段が車・団体バスが主であり歩いて周遊する行動が起きにくい。
- 観光客の時間的集中**
  - 首里城公園への来訪手段・移動手段が車が主となっている。
  - 旅程等の都合で、特定シーズンや日時に集中した来訪が発生しており、周辺道路の混雑の要因となっている。



RESAS 地域経済分析システム 観光マップより  
他都道府県の滞在状況



参照：内閣府沖縄総合事務局国営記念公園事務所公開資料



平成30年11月 首里城公園入場者数



## 4. 対策の概要

目指す姿	首里城正殿復興後も地域負荷が増大しないよう観光客数を適切に管理し、自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりの実現を目指す
KGI	(指標) 首里地域の地域住民による観光客の受入意向
	目標値：68.0%   実績値：78.0% (令和8年1月)
<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的なまちづくりへの課題への取組として以下に取り組む 「場所の分散（周辺の観光資源）」「時間の分散」「移動手段の分散（公共交通機関の促進）」</li> </ul>	



### ■ 補助事業の実施概要

地域住民と協働した観光振興	
① 首里杜地区周遊ルート作成および周知事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>首里地域には、首里城公園以外にも観光資源が存在するが、本来の魅力が伝わっておらず、「直行直帰型観光」となっており、地域メリットが薄い状況となっている。</li> <li>直行直帰型観光から周遊型観光を推進するにあたり、まちづくり協議会と協働し周遊ルートに関するデジタルマップの作成および旅前に周知することで、周辺地域への周遊の促進をはかり、地域事業者への経済的な効果に繋げる。</li> </ul>

需要の適切な管理	
② 首里城公園における時間制チケットの導入事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度に予定している首里城正殿復興元後は、さらなる観光客の増加が見込まれており、周辺の混雑や安全面で影響が懸念される。</li> <li>首里城公園の目玉である、正殿への入場を時間制にすることで、公園全体の来園者の時間を分散し、利用満足度の低下や入場待ちによるバス・レンタカーの駐車時間延長等の問題に対応できるため。また、周辺地域での待ち時間活用を促すことができるため。</li> </ul>

調査・分析	
③ 首里城公園駐車場小型車予約システムの見据えた実証実験事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度に予定している首里城正殿復興元後は、さらなる観光客の増加が見込まれており、レンタカー等による小型車の渋滞が懸念される。</li> <li>小型車を予約制にすることで、駐車できなかった際に、駐車できる時間への分散や公共交通機関への利用の分散が期待できる。</li> <li>一方、運営面及び収益面での課題や懸念が想定されることから実証実験を通じて、課題と改善策を抽出し、令和8年での本格運用を目指す。</li> </ul>

地域住民と協働した観光振興	
④ 首里城公園駐車場満空情報の可視化システム導入事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>首里城公園の駐車場は予約制によるバスの受入を優先しており、シーズンや時間で小型車の受入台数が可変の状況となっている。現在はリアルタイムでの満空情報発信のみ実施しているため、現地に行ってから判断するしかない状況となっている。</li> <li>バスの予約状況に応じて、小型車の受入台数を可視化し発信することで、旅前における首里城公園への移動手段の変容（公共交通機関の活用）に繋げることが狙い。</li> </ul>

### KGI：首里地域の地域住民による観光客の受入意向

- ・測定手法：地域住民へのアンケート
- ・現状値：なし（令和7年度）
- ・目標値：68.0%（令和9年度）

- ・首里城正殿の復興に際して、首里城公園への来訪者が一層増加する見込みであり、さらなる混雑の発生が懸念される。
- ・周辺駐車場への誘導に取り組んでいるものの、首里城公園周辺の周遊促進には繋がっていない。以前の実証実験では周遊ルートの充実が課題として顕在化した。
- ・交通渋滞により通勤や学校の送迎などの点で地域住民の日常生活に影響が発生しており、一部施設で集中的な混雑が起き、快適な観光ができていない。

### 首里社地区周遊ルート作成および周知事業

### KPI：首里社地区内のスポット来訪者割合 (龍潭線・金城町石畳)

令和7年度 龍潭線35.8%・金城町石畳4.6%  
 令和9年度 龍潭線39.7%・金城町石畳5.1%  
 ※周遊ルートはオレンジで記載

### 首里城公園における時間制チケットの導入事業

#### KPI①：時間分散（集中分散）

令和7年度 8時～11時間の来園者：29.7%

#### KPI②：1日あたりの時間別来園者率のギャップ

令和7年度 10%

令和9年度 7%

#### KPI③：時間制チケットに関する来訪者の理解度

令和7年度 50%

令和9年度 90%

### 首里城公園駐車場満空情報の可視化システム導入事業

#### KPI①：時間・手段の分散

令和7年度 レンタカー40.0%・自家用車10.0%

令和9年度 レンタカー26.6%・自家用車6.7%

#### KPI②：小型車で来訪者が首里城公園に 来訪する前に満空情報のシステムを確認した割合

令和7年度 10%

令和9年度 50%

### 首里城公園駐車場小型車予約システムの 導入を見据えた実証実験事業

#### KPI①：時間・手段の分散

令和7年度 レンタカー40.0%・自家用車10.0%

令和9年度 レンタカー26.6%・自家用車6.7%

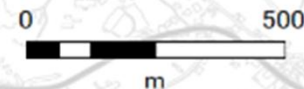
#### KPI②：来訪者の首里城公園駐車場小型車 予約システム利用率

令和7年度 90%

令和9年度 100%

首里八景		★	御嶽・拝所	
指定文化財	国指定	◎	宗教施設(官寺)	
	県指定	⊙	琉球国関連遺跡	
	市指定	●	水・カー	
未指定文化資源		◆	名勝・天然記念物・自然	
伝統産業・工房等		▲	眺望(見晴らし)	
景観資源・眺望		☆	交通・通信施設(道・橋・烽火台)	
公共施設		○	近代/公的施設跡	
			石碑	
			食	
			工芸・織工	
			その他	

首里社地区  
 公園・緑地・墓園・ポケットパーク  
 宿道



地域住民と協働した観光振興

補助事業①	首里杜地区周遊ルートの作成および周知事業		
事業目的	首里杜地区周遊ルート・マップの作成および周知による地域の観光振興		
実施主体	沖縄県	実施期間	令和7年11月～令和8年2月

【背景・課題】

- 首里地域には、首里城公園以外にも観光資源が存在するが、本来の魅力が伝わっておらず、「直行直帰型観光」となっており、地域メリットが薄い状況となっている
- 直行直帰型観光から周遊型観光を進めにあたり、まちづくり協議会と協働し周遊ルートに関するデジタルマップの作成および旅前に周知することで、周辺地域への周遊の促進が期待できる

【事業内容】

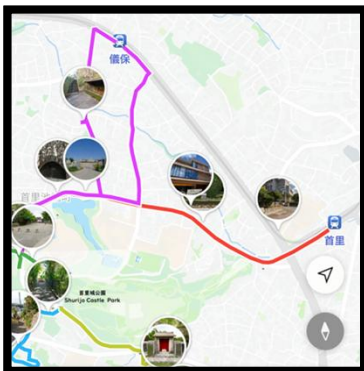
- 周遊ルートに関するデジタルマップの作成および周知により、周遊型観光の促進を進める
  - ⇒まちづくり協議会と連動した周遊ルートの検討、デジタルマップを作成
  - ⇒周知方法（アプリ・ポスター掲示等）の検討

【周遊ルートに関するデジタルマップの選定理由】

- インターネット上で公開することにより、事前（旅前）に情報を提供できるため
- デジタル化により紙媒体での情報更新にかかるデザイン作成の手間、時間を削減し、最新情報をスムーズに提供することが可能なため
- まちづくり協議会と協働し周遊ルートに関するデジタルマップの作成および旅前に周知することで、周辺地域への周遊の促進が期待できるため

【推進ポイント】

- 周遊ルートの中でも龍潭線・金城町石畳の2スポットを優先にしつつ、地域全体や地域事業者とワークショップや意見交換しながら進める
- 首里城正殿以外の地域が誇る観光スポットにも観光客が訪れ面的な地域活性化を図ることで、観光による恩恵を地域住民が感じ、観光客の受入意向の向上に寄与

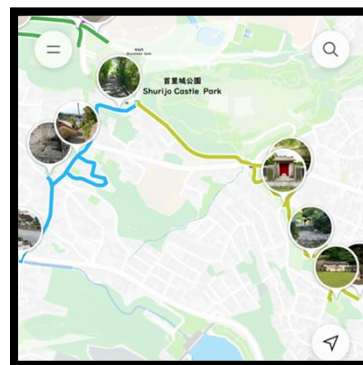


龍潭線を含む周遊ルート

- 紫ルート：首里城～儀保駅
- 赤ルート：首里城～首里駅

【観光資源】

- 首里染織館suikara
- 安谷川



金城町石畳・崎山町を含む周遊ルート

- 水色ルート：首里城～金城町石畳
- 黄色：首里城～崎山町

【観光資源】

- 崎山樋川
- 雨乞御嶽

補助事業①

首里杜地区周遊ルートの作成および周知事業

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名

首里杜地区内のスポット来訪者割合

令和7年度に掲げた目標値

- 目標値：龍潭線 39.7%・金城町石畳 5.1% (年度内)

事業の成果/目標の検証結果

- 実績値：龍潭線 62.5%・金城町石畳 5.2% (年度内)  
(事業完了時 令和8年2月1日～2月8日)

成果の詳細

周辺の地域資源に係る整理

- 地域資源のスポット数：21件 (史跡20スポット、店舗1スポット)

首里地域の課題であった地域周遊への寄与

- 令和8年2月1日～2月8日の期間、首里城公園有料区域から周辺地域への滞在については前年度の同時期と比較し、龍潭線は増加しており、周遊マップ導入による一定の効果が表れている。

令和7年 (2月1日～2月8日) 龍潭線：308名 金城町の石畳：44名

令和8年 (2月1日～2月8日) 龍潭線：529名 金城町の石畳：44名

令和7年度事業を踏まえた継続課題

1 周遊ルートの周知に係る手法の拡充

- 首里城公園のチラシから当該周遊ルートへアクセスできる仕様としているものの、2/1 (日)～2/8 (日)の1週間におけるマップPV数は128PVに留まっており、利用者の増加に向けてアクセスの入口を増やす必要がある。

2 飲食店等の業者の店舗情報の掲載増加

- 飲食店等の地域事業者の店舗掲載が令和8年2月時点として1件に留まっており、地域経済の活性化につながるためにも、マップ上における掲載件数を増加させたい。

令和8年度以降の方針

1 周知の強化

- 本事業では首里城公園におけるチラシ配布のみに留まってしまったため、令和8年度以降は首里城公園のHPやその他SNS等でも発信を行い、利用者の目に触れる機会を増加させる。

2 マップ機能の拡充

- 周遊マップは4月以降導入を予定している首里城アプリに機能統合される予定であり、時間制チケットのシステムとも連動を図ることで、マップ機能だけではなくチケット情報等を掲載することにより、入場前の空き時間を活用した周遊等の促進に繋げる。

3 運用に関する検討

- 店舗情報の更新等に係る運用は検討が必要な事象であり、一過性にならず持続的な対応を進めるための調整をまずは実施したい。

需要の適切な管理

補助事業②	首里城公園における時間制チケットの導入事業		
事業目的	時間制チケット導入による首里城公園来園時間の分散化		
実施主体	沖縄県	実施期間	令和7年11月～令和8年2月

**【背景・課題】**

- 令和8年度に予定している首里城正殿復元後は、さらなる観光客の増加が見込まれており、周辺の混雑や安全面で影響が懸念される。
- 首里城公園の来園については、特に団体が午前中の特定時間に集中する傾向にあるため、一般来園者とのバッティングによる混雑が発生している。
- 首里城正殿は、入場に制限人数を設定するため、入場できない利用者が多くなり、利用満足度の低下や入場待ちによるバス・レンタカーの駐車時間の延長が問題となる。

**【事業内容】**

- 時間制導入に伴う各システムの一括管理が可能なシステムの導入を行う。
  - ⇒時間制チケットシステム仕様と運用方法の確定
  - ⇒時間制導入に対応した、窓口販売システム、自動券売機、入退場ゲート、オンラインチケット、団体向けチケット販売システムの導入を行う。

**【時間制チケット導入の選定理由】**

- 首里城公園の目玉である、有料エリア（正殿）への入場を時間制にすることで、公園全体の来園者の時間を分散し、利用満足度の低下や入場待ちによるバス・レンタカーの駐車時間延長等の問題に対応できるため。
- 周辺地域での待ち時間活用を促すことができるため。

**【推進ポイント】**

- 現在首里城公園の指定管理業務を受託している（一財）沖縄美ら島財団との運用面での調整を綿密に行う。まちづくり協議会にて地域全体に進捗状況を報告し、適宜運用の参考とする。
- 時間的な来訪者の集中を無くすことで地域住民が使用する周辺道路の混雑を解消し、観光客受入に係るマイナスな印象を回避することに貢献する



時間制入場システム設置機器（イメージ図）

## 補助事業②

## 首里城公園における時間制チケットの導入事業

### 令和7年度事業の目標（KPI）

指標名 「指標① 8時～11時間の来園者」「指標② 1日あたりの時間別来園者率のギャップ」「指標③ 時間制チケットに関する来訪者の理解度」

#### 令和7年度に掲げた目標値

- ・ 指標① 8時～11時間の来園者：29.7%
- ・ 指標② 1日あたりの時間別来園者率のギャップ：10%
- ・ 指標③ 時間制チケットに関する来訪者の理解度：50%

#### 事業の成果/目標の検証結果

- ・ 指標① 8時～11時間の来園者：28.7%（令和8年2月1日～12日の実績）
- ・ 指標② 1日あたりの時間別来園者率のギャップ：7%（令和8年2月1日～12日の実績）
- ・ 指標③ 時間制チケットに関する来訪者の理解度：76%

### 成果の詳細

#### 時間制チケット導入に向けたハード面の整備の完了

- ・ 時間制チケット運用に向けて発券・在庫確認の一括管理を実現する為の、窓口販売、自動券売機、団体予約受付、Web販売におけるハード面の整備が完了した。

#### 時間制チケットに関する観光客の一定の理解

- ・ 観光客向けにアンケートを実施（743件）し、76%の方が導入に向け支持する前向きな回答を得られた。
- ・ また、希望時間が満員だった場合に、時間を変えるかの質問に対する回答では、70%が時間を変えると回答した。

### 令和7年度事業を踏まえた継続課題

#### 1 時間制チケットの運用に向けた調整

- ・ 運用法は現時点で確定していないが、首里城公園の来園者は団体観光と個人観光の大きく2つに分けられるため、観光客の属性に応じた対応が肝要。

#### 2 時間制チケットの発信

- ・ 首里城公園のチケットは公園の有料エリア入口付近で販売されるため、現地に到着してから入場できない等のクレームを受領する可能性。現状では十分に情報発信がなされていない。

#### 3 バスの予約制、小型車の予約制、首里城公園周辺への周遊等との連動

- ・ 正殿の時間制チケットはとれたが、バスの予約ができない、駐車場に駐車できず正殿に入場できない等の懸念が想定され、クレームに繋がるリスクが想定される。

#### 4 時間制チケット懸念意見に対する対応

- ・ 時間制チケット導入に関するアンケートのマイナス意見として「自由度の低下」や「到着遅延リスク」等があげられた。こちらについての対応も検討する必要がある。

### 令和8年度以降の方針

#### 1 時間制チケット運用ルールの確立

- ・ 観光客の属性にあわせた販売タイミング、販売方法、枠の解放数等、運用ルールを検討し、運用ルールを確立。

#### 2 時間制チケットに係る情報発信の充実化

- ・ 首里城公園入口付近での発信、WEB等の活用等、アナログ、デジタルの両面からチケットの発信を強化。

#### 3 他事業における機能との連動

- ・ 令和7年度導入した周遊マップや、駐車場予約システム（バス、個人）を連動させ、利便性の向上を図りながら観光客の満足度向上及び、首里城公園来園時間の分散化を図る。

## 需要の分散・平準化

<b>補助事業④</b>	<b>首里城公園駐車場満空情報の可視化システム導入事業</b>		
<b>事業目的</b>	駐車場満空情報の可視化システムによる時間と手段の分散化		
<b>実施主体</b>	沖縄県	<b>実施期間</b>	令和7年11月～令和8年2月

### 【背景・課題】

- ・ 首里城公園駐車場は、大型バス優先の運用を行っているため、小型車が駐車できる日時が限られている
- ・ 小型車予約システムと併せた満空情報の見える化システム（ハード面）により、駐車ができなかった際に、駐車ができる時間帯への時間の分散化と公共交通機関を利用する手段の分散化を行う

### 【事業内容】

- ・ 小型車予約システムと連携する可視化システムの仕様確定
- ・ 可視化システムの開発と公開

### 【小型車予約システムの選定理由】

- ・ 可視化システムを選定した主な理由は以下の通りである。
  - ①首里城公園駐車場の満空情報を可視化することで、空いている時間帯への分散や公共交通機関利用の促進（小型車を使用しない）が期待できるため。
  - ②公共交通機関の利用に伴い、周辺への周遊促進が期待できるため

### 【推進ポイント】

- ・ 現在首里城公園の指定管理業務を受託している（一財）沖縄美ら島財団の意見や見解を反映させながら進める。



首里城公園HP



制作した可視化システム

遷移



バスの予約情報を元に、一般車の受入れ可能状況を可視化

バス予約システム

### 補助事業④

### 首里城公園駐車場満空情報の可視化システム導入事業

#### 令和7年度事業の目標 (KPI)

##### 指標名

KPI①：時間・手段の分散 KPI②：小型車での来訪者が首里城公園に来訪する前に満空情報のシステムを確認した割合

##### 令和7年度に掲げた目標値

- KPI①：時間・手段の分散  
令和7年度 レンタカー40.0%・自家用車10.0%
- KPI②：小型車での来訪者が首里城公園に来訪する前に満空情報のシステムを確認した割合  
令和7年度 10%

##### 事業の成果/目標の検証結果

- KPI①：時間・手段の分散  
令和7年度 レンタカー46.0%・自家用車5.0%
- KPI②：小型車での来訪者が首里城公園に来訪する前に満空情報のシステムを確認した割合  
令和7年度 18%

#### 成果の詳細

- 可視化システムの構築・発信の遂行  
  - ＜可視化システムの概要＞
  - 日別空き状況（7日分）※、閲覧日の翌日から7日間の空き状況を表示する。
  - 時間帯別空き状況（朝・昼・夕方）
  - 時間帯の凡例と営業時間の説明

#### 令和7年度事業を踏まえた継続課題

##### 可視化システムの閲覧数

- 来園者からのアンケート結果では、本システムを確認した割合は18%に留まった。令和7年度の目標は達成しているものの、今後、時間制チケットの販売に伴い、チケットを購入できたが、駐車場が満車で入れない事象が発生する等の懸念が存在する。
- 利用交通手段をレンタカー・自家用車から公共交通機関（モノレール）に転換させるためにも、本システムを事前に確認して頂ける利用導線の検討が必要となる。

#### 令和8年度以降の方針

##### 時間制チケットシステムとの連動

- 今後、時間制チケットの販売に伴い、駐車場の利用ニーズが急激に高まる可能性があることから、時間制チケットの販売状況と合わせて本システムも案内することで事前に駐車場の入庫可否を判断させ、利用交通手段をレンタカー・自家用車から公共交通機関（モノレール）に転換させることを目指す。

## 4. 対策の概要

- 地域の現状を把握するため、交通量のデータ分析、また地域住民へのアンケートを実施し、計画を策定
- 時間と場所の分散を対策の軸として、駐車場満空情報や予約状況の見える化などを実施する
- また、本エリアはR4にまちづくり協議会が設立し、20年、50年先を見据えつつ、持続可能なまちづくりを進めていく計画である。そのためには、効果検証のための数値指標を設定し、観光による地域の変化を測る必要があるが、その指標が設定されていない
- そのため、日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した指標設定や研修により、地域の体制も強化していく

### エリアマップ



### 観光客の分散・平準化

- |            |   |
|------------|---|
| <b>取組み</b> | ①予約状況が見える化するためのバス予約システムの構築  |
| <b>内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一時に大型バスが来園することにより、約150m通過に約25分かかるほど深刻な交通渋滞が発生</li> <li>予約状況が見える化することで、駐車場予約時間の分散化を図る</li> </ul>                          |
| <b>取組み</b> | ②首里城公園駐車場とあわせた周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信システム及びWebサイトの構築  |
| <b>内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺駐車場を探し回ることによるうろつき交通が発生し、混雑の要因となっている</li> <li>周辺の民間駐車場への誘導により、スムーズに車を分散させることで、うろつき交通・渋滞解消を図る。あわせて、周遊観光の促進も図る</li> </ul> |
| <b>取組み</b> | ③首里城公園駐車場の満空情報を発信するためのwebサイト構築、道路サインージの設置①  |
| <b>内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>満車にもかかわらず、飛び込みで来るレンタカーなどが交通渋滞を発生させている</li> <li>来園前に満空を確認できるようにすることで、場所・時間の分散を図る</li> </ul>                               |
| <b>取組み</b> | ④近距離モビリティ実証実験   |
| <b>内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>首里城公園周辺の観光スポットに観光客が分散せず、園内が混雑</li> <li>近距離モビリティにより周遊しやすい環境を整備することで、周遊観光促進及び観光の経済効果の波及を図る</li> </ul>                      |

### 需要の適切な管理

- |            |   |
|------------|---|
| <b>取組み</b> | ⑤人流解析基礎データ情報を取得するための機器の設置②  |
| <b>内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>首里城の特定エリアに修学旅行生などの観光客が集中し、快適な観光への影響の他、群衆事故が発生する懸念もある</li> <li>まずは人流を把握し、需要の適切な管理方法の構築に繋げていく</li> </ul> |

### 調査・分析

- |            |   |
|------------|---|
| <b>取組み</b> | ⑥日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用したデータ収集・分析等   |
| <b>内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進捗状況や成果等を分析、効果検証するための数値指標が設定されておらず、観光によって地域がどうなったかが見えていない</li> <li>そのため、データ分析の仕組みを構築し、効果検証を実施する</li> </ul> |

## 5-①. 主な取組み（詳細）

## 課題

首里城公園駐車場への集中による交通渋滞発生

## 取組み

## 満空情報の発信／バス予約システム構築（3事業）

- ・ 実施期間：令和6年7月～令和7年2月
- ・ 実施主体：沖縄県

## 事業内容

## 1. 周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信

- ・ 首里城公園駐車場周辺の民間駐車場の情報について、満空情報の発信を追加する

## 2. 満空情報発信するためのサインージの設置

- ・ 首里城公園駐車場の満空情報を首里城前のサインージにより発信する

## 3. 予約状況が見える化するためのバス予約システムの構築

- ・ 予約を行ったバスについて、QRコードを使用した入庫の仕組みを構築する

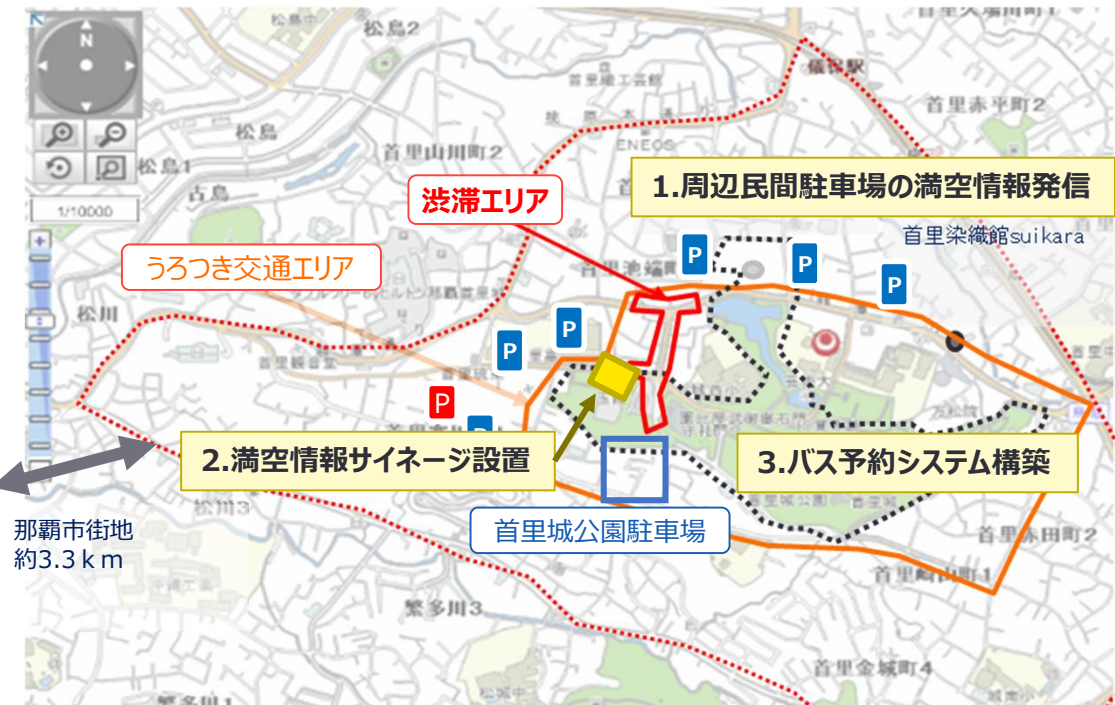
## 【現状】

首里城公園駐車場に集中するため、駐車場待ちによる交通混雑が発生しやすい

事業1： 周辺駐車場の満空情報を集約し首里城公園WEBサイトで発信することで、首里城公園駐車場からの分散を図る

事業2： 駐車場の満空情報情報をサインージで発信し、来園前に周辺駐車場などに回避させる

事業3： 渋滞の要因となっているバスについて、事前予約制にすることで駐車場待ちの渋滞を解消する



# 5-①. 成果及び今後に向けて

## 令和6年度事業の目標

- 満空情報及び周辺駐車場の空き情報見える化により、首里城公園周辺における交通渋滞を解消する

## 事業の成果／目標の検証結果

- エリア一体で交通渋滞軽減を図る仕組みを構築し、仕組みの有効性を確認した  
**事業1：連携する民間駐車場の箇所数：6か所73台、サイトへのアクセス数4,881pv**  
 (令和6年12月～令和7年1月)  
**事業2：満空情報発信までのタイムラグ 15秒⇒5秒に削減**  
**事業3：入庫確認時間(平均) 20秒⇒10秒に削減**

## 成果詳細

### 1. 周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信

- 6か所73台の民間駐車場と連携
- 周辺民間駐車場のサイトアクセス数は4,881PVとなり、首里城公園駐車場からの分散化を図ることができていると考えられる



TOPページから周辺駐車場を案内

周辺の民間駐車場のご案内



No.	名称	収容台数	満空情報(外部サイト)
1	首里パーキング 第1	30台	—
5	守礼駐車場	営業停止	—
6	タイムズ首里城前第2	4台	満空情報
7	首里城入口駐車場	15台	—
8	首里城前パーキング	40台	—
9	龍潭前ひまわりパーキング	5台	—
10	首里城公園前パーキング	20台	—
11	三井のリパーク 首里城前	13台	満空情報
12	三井のリパーク 烏帽子1丁目第1	4台	満空情報
13	三井のリパーク 烏帽子1丁目第2	18台	満空情報
14	三井のリパーク 烏帽子1丁目第3	34台	満空情報
15	Dパーキング 那覇市首里城山町第1	36台	満空情報

満空情報の追加

空車 2025/02/17 11:20現在  
**タイムズ首里城前第2**

首里城前 混雑

全日 00:00-24:00  
 20分/200円

備考 最大料金  
 【全日】最大料金入庫後8時間以内800円  
 ※最大料金は繰り返し適用となります。

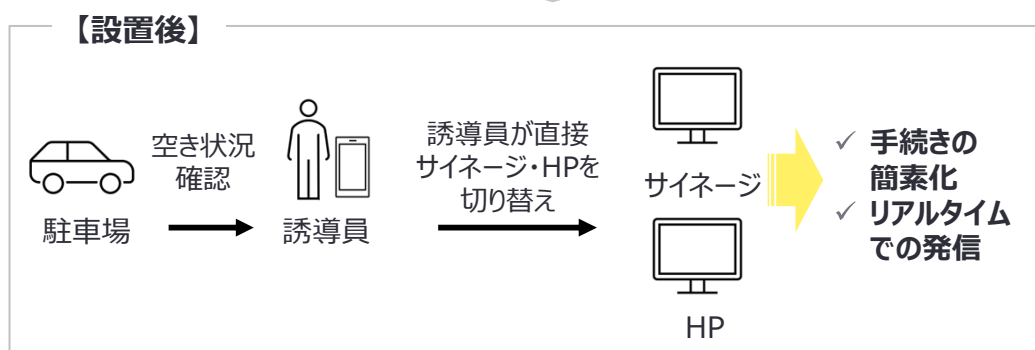
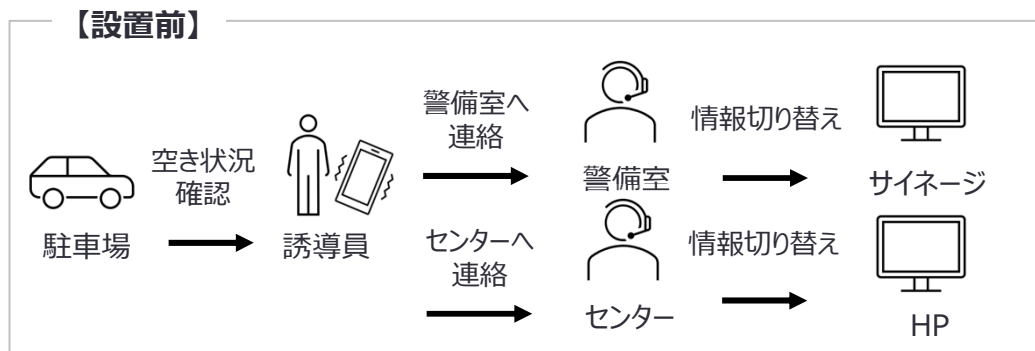
首里ほりかわ 芸術大学前店 2丁目

# 5-①. 成果及び今後に向けて

## 成果詳細

### 2. 駐車場の満空情報を発信するためのサイネージの設置

- 設置前：誘導員が警備室・センターに連絡し、サイネージ・HPを切り替えていたため、手続きが煩雑で、タイムラグも発生
- 設置後：誘導員が直接切り替えられるようになり、手続きが簡素化。タイムラグも解消した



満空情報発信までのタイムラグ 15秒⇒5秒



サイネージ



HP

## 5-①. 成果及び今後に向けて

## 成果詳細

## 3. バス予約システム構築（出入口へのQRリーダー設置）

- バスによる来園時間帯の平準化による周辺道路の渋滞緩和を図るため、バスの駐車場利用については、令和5年7月3日から予約制を導入
- WEBサイトでの予約時にQRコードを発行し、入庫をスムーズ化する

## WEB上で駐車場を予約

予約する

2025年 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

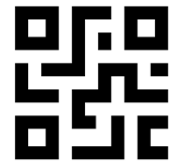
エリアかツアー区分のどちらかは指定してください。

エリア  
首里城公園駐車場

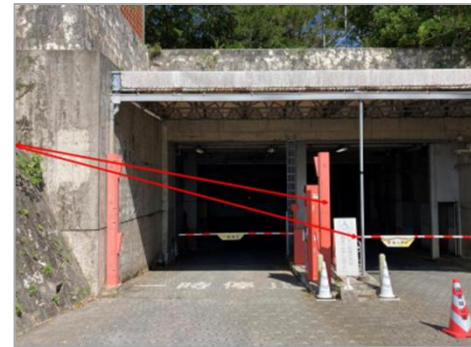
ツアー区分  
選択してください

検索

## QRコード発行



## QRコードを読み取り入庫



入庫確認時間（平均）  
20秒⇒10秒に削減

## 令和6年度の取組みから見えてきた課題

## ■ 令和8年秋の正殿再建を見据えた需要のコントロール

- 渋滞の要因となっているバスについては予約制とし、平準化を図っているが、バスを優先とした結果、**レンタカーなどが止められない時間帯が発生**
- 正殿再建後は、観光客が急増し、混雑や渋滞が悪化することが想定されるため、**エリア全体でさらなる需要のコントロールの仕組みを構築していく必要がある**

## 令和7年度以降に取り組むべきと考えること

## ■ 小型車の予約制導入

- 首里城公園駐車場はバスのみを予約制としているが、レンタカーなど、小型車についても予約制の導入を実施
- 周辺駐車場の満空情報の発信強化
  - 首里城公園駐車場に入れない車両を周辺駐車場に誘導するために、満空情報発信を強化する
- 首里城正殿の時間制チケット導入
  - 時間制チケットを導入し、総量のコントロールを実施。チケットを予約したが駐車場に止められないという事態が発生しないよう、正殿と駐車場の予約を連動させる方法などを検討

## 首里杜エリアの目指す姿

### ➤ 首里杜エリアの目指す姿

- 首里城公園に集中する車・人について、予約制などにより需要をコントロールしつつ、周辺への分散化を促進し、地域の活性化にもつなげる
- このように、エリア一体で観光管理の体制を構築することで、自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す

首里城復興を見据えた エリアマネジメント	需要の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 首里城正殿の時間制予約の導入</li> <li>• バス・小型車の駐車場予約制の導入</li> </ul>
	分散化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満空情報発信による駐車場状況の見える化、周辺駐車場への誘導</li> </ul>
	周遊促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 首里城公園周辺の周遊ルート開発、2次交通の整備</li> </ul>

100年後まで  
住み続けられる  
持続的なまちづくり



## 5-②. 主な取組み（詳細）

## 問題

- 首里城正殿復元の際に来園者が爆発的に増加すると周辺住民への影響が予想され、観光に対する不安の高まり、信頼度低下が懸念される

## 対策事業

- 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の各項目に基づくデータの収集・記録、取組
- 期間：令和6年9月～令和7年2月
  - 実施主体：沖縄県

## 事業内容

### ■ 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の各項目に基づくデータの収集・記録、取組

- JSTS-Dロゴの取得に向けた意見交換・計画改定
- まちづくりの取組の効果検証のための指標設定
- GSTCトレーニングの受講
- 今後の地域づくりに関するワークショップ等の開催
- 他地域との意見交換

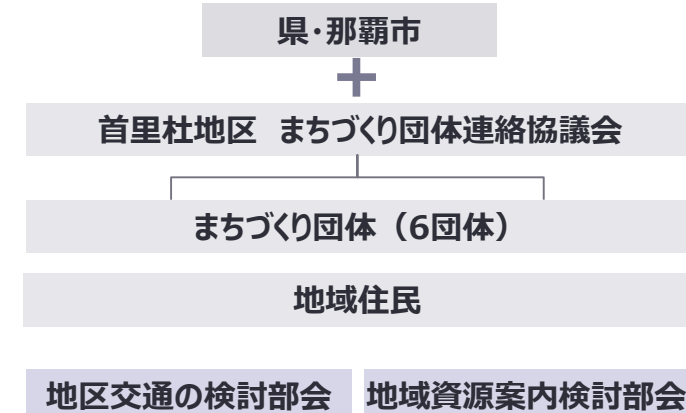
## 【背景】

- 首里杜まちづくり推進協議会において、持続的なまちづくりを進め、10年計画のロードマップを協議しているが、進捗状況や成果等を分析、効果検証するための数値指標が設定されておらず、観光によって地域がどうなったかが見えていない
- 首里城正殿復元の際に来園者が爆発的な増加による周辺住民への影響が予想され、観光に対する不安の高まり、信頼度低下が懸念される

## 【目的】

- 地域における課題再整理、可視化のため、日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用し、地域住民に対して取組の更なる浸透を図るほか、暮らしと観光の両立について、首里地域にあった姿は何か、関係者の議論を深める

## 地域住民の巻き込み体制



日本版持続可能な観光ガイドライン  
(JSTS-D) 研修  
効果検証のための指標の検討  
指標設定に必要なデータ取得

## ＜令和6年度の事業内容＞

- まちづくり推進協議会は年2回、県・那覇市・大学も含め、直近は約80名で実施
- 部会は、年2回実施
- 持続可能な観光WGを新設した。
- 部会に附随するワークショップは、3地区で年2回実施

## 5-②. 成果及び今後に向けて

## 令和6年度事業の目標

- 今後のまちづくりの取組の効果検証に向けた指標を設定
- **日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴマークの取得**や座組の強化など、**持続可能な観光地づくりに向けた体制の整備**

## 事業の成果／目標の検証結果

- **7つの指標案**を作成。**指標策定に向け、引き続き協議を継続**する
- 持続可能な観光地域づくりに関する国際基準(GSTC)トレーニング修了証明書を取得するなど、**ロゴマーク取得を進めていく**

## 成果詳細

## 住民を含めたワーキンググループの実施



## 持続可能な観光地域づくりに関する国際基準（GSTC）トレーニングの実施



## 令和6年度の取組みから見えてきた課題

## ■ 共通指標の策定に向けた合意形成

- 持続可能な観光地域づくりに向けては、関係者で共通認識を持つための指標を策定する必要があるが、**合意形成には時間がかかる**

## 令和7年度以降に取り組むべきと考えること

## ■ 指標策定に向けた協議の継続実施

- 引き続き、地域住民との協議やワークショップ等を継続し、まちづくりの取組と効果を継続的に検証するための**指標策定を目指す**

## 現状について

- 令和7年度は、地域一体型として事業を実施。